

## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	構造用木質材料の変形と破壊に関する小委員会		主 査 名：軽部正彦 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)		委員長名：中島正愛 主 査 名：河合直人
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>木質構造の変形や破壊について理解を深めることは安全な木質構造の実現のために不可欠であり、実務設計者に対してこれらの情報を整理して提供する必要がある。本小委員会は、これらの情報を収集して本学会独自の見識を加え、木質構造の実務設計に資するマニュアルの作成を目指す。</p> <p>2010 年：最終出版物に向けた方針を策定し、情報収集とその整理を行う。</p> <p>2011 年：取り纏め担当者を決定し、文章に構成する。</p> <p>2012 年：原稿全体を見渡しながらの取り纏め作業に入る。</p> <p>2013 年：原稿を取り纏め、査読修正を経て出版依頼する。講習会企画を行う。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：なし (2010 年 4 月の設置時に実施)</p> <p>主査：軽部正彦 (森林総合研究所) 幹事：板垣直行 (秋田県立大学) 委員：青木謙治、宮武 敦 (森林総合研究所)、稲山正弘、蒲池 健、福山 弘 (東京大学)、小野 泰 (ものづくり大学)、小林研治 (静岡大学)、槌本敬大 (国土交通省国土技術政策総合研究所)、原田浩司 (木構造振興)、神戸 渡 (東京理科大学)、澤田 圭 (北海道大学)、楠 寿博 (竹中工務店)、照井清貴 (ポラス暮らし科学研究所) WG {主査：腰原幹雄 (東京大学生産技術研究所)、幹事：稲山正弘 (前出)、小松幸平 (京都大学生存圏研究所)}</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	木質構造試験法・評価法 WG：各種構造要素の試験法・評価法から必要な情報を抽出・集約し、一貫した思想と、それに基づく方法を検討する。		
2011 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	予定通り、成果出版物の分担を決定し、原案作成に着手した。
委員会活動の問題点 ・課題	今年度で終了する木質構造試験法・評価法 WG の成果を受けて、次年度に新たに設計上の安全率の取り方検討 WG、実験データ等の集積方法検討 WG を設置し、成果出版物の基礎となる考え方を整理する。新設 WG には、現関係委員に加え、新たな会員を追加して構成する。